

授業科目	事例研究(グローバルコミュニケーション) Case Study (Global Communication)			担当教員	田中 誠		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	1・2年/後期	必修・選択	選択
授業のねらい							
この講義では、様々な事例研究を通して、グローバル時代において、円滑にコミュニケーションをするための専門的知識と技能を修得することを目標とする。							
観点	学生の授業における到達目標			評価手段・方法	評価比率		
関心・意欲 ・態度	常に学び、成長しようとする姿勢で、意欲的に授業に取り組むことができる。			授業態度・参加度	20%		
思考・判断	グローバル時代のコミュニケーションにおいて、事例ごとに適切な戦略を選択することができる。			課題レポート	20%		
技能・表現	各事例を正確に理解し、それを適切にまとめて発表することができる。			授業中の発表	30%		
知識・理解	円滑にコミュニケーションをするための戦略について、各事例に応じて説明することができる。			課題レポート	30%		
出席						受験要件	
合計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
評価は、授業態度・参加度 20%、授業中の発表 30%、課題レポート 50% で評価する。授業態度・参加度については、教師からの発問に対する応答の内容及び学生同士の討論内容を評価する。授業中の発表については、各自の担当箇所の発表内容を評価する。課題レポートについては、学期末のグローバルコミュニケーションに関するレポート内容を評価し、個別にメールでフィードバックを行う。							
授業の概要							
この講義では、より良いグローバルコミュニケーションに活かすことのできる基本的な戦略を学ぶために、まず共通性の高い戦略について概観した後、英語で書かれた事例を丁寧に読み込んでいく。テキストとして取り扱う内容を十分に理解するだけでなく、幅広い文献・資料にも意欲的にあたることによって、各事例におけるグローバル時代のコミュニケーションについての考察を深めてもらいたい。							
教科書・参考書							
教科書： Meyer, Erin Meyer (2013) <i>The Culture Map: Breaking Through the Invisible Boundaries of Global Business</i> . Public Affairs. (電子書籍版もあるので、電子書籍でも可) 参考書： Brown, Penelope and Levinson, Stephen C. (1987) <i>Politeness: Some Universals in Language Usage</i> . Cambridge University Press. Molinsky, Andy (2013) <i>Global Dexterity</i> . Harvard Business Review Press.							
授業外における学修及び学生に期待すること							
必ずしっかり予習をして授業に参加してもらいたい。自ら学ぼうという姿勢が重要である。関連文献等を進んで読み進めてほしい。また、辞書を必ず授業には持ってくること。(電子辞書可)							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション、グ ライスの協調の原理	授業がスムーズに進むように、本講義の意義を理解する。グライスの協調の原理、ポライトネス・ストラテジーについて、理論の概略解説（1）。	シラバスを読んでくる。 グローバル人材について調べる。配布プリントの復習
2	ポライトネス・ストラ テジー	ポライトネス・ストラテジーについて、理論の概略解説（2）	ポライトネス・ストラテジーについて調べる。配布プリントの復習
3	アメリカとドイツのビジ ネス文化	ニューヨークの金融会社とドイツの組織の合併の事例について。	アメリカとドイツのビジネス文化について調べる。本事例の復習
4	アメリカのビジネス文化 の特徴	アメリカの世界の文化見取り図における、文化の位置づけについて。	アメリカのビジネス文化の特徴について調べる。本事例の復習
5	意思決定のスタイルの違 い	意思決定のスタイルの違いに影響する歴史的な起源について。	意思決定の文化によるスタイルの違いについて調べる。本事例の復習
6	意思決定時の傾向	合意かトップダウンか：どちらをより好む傾向にあるのかについて。	合意とトップダウンのどちらを選ぶ傾向があるのかについて調べる。本事例の復習
7	スウェーデンの事例	スウェーデン人マネジャーのパー・イングマンの話に基づく事例について。	スウェーデンのビジネスについて調べる。本事例の復習
8	稟議システム	日本の稟議システムについて。	稟議システムについて調べる。本事例の復習
9	決断時の衝突を避ける	決断時の文化の衝突を避ける方法について。	決断時の文化の違いについて調べる。本事例の復習
10	ブラジルの事例	ブラジルの有名鉄鋼メーカーの事例について。	ブラジルのビジネスについて調べる。本事例の復習
11	中国の事例	ネスレのカール・モレルの中国との合併事業の事例について。	中国のビジネスについて調べる。本事例の復習
12	文化による信頼を得る方 法の違い	文化により異なる認知的信頼と感情的信頼について。	文化の違いによる信頼を得る方法について調べる。本事例の復習
13	中国人とアメリカ人の重 役の比較	ハーバードビジネススクールの教授による中国人とアメリカ人の重役の調査について。	中国人のビジネス方法について調べる。本事例の復習
14	タスクベースと関係ベー ス	タスクベース文化か関係ベース文化について、その対応方法。	タスクベースと関係ベースについて調べる。本事例の復習
15	発表、まとめ	課題レポートの発表、これまでの授業のまとめ。	課題レポート発表の準備、全体の復習